

## はじめに

「大津野学区まちづくり計画」は「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を基本にして策定しました。策定にあたりましては、大津野学区まちづくり推進委員会が中心となり、「大津野学区まちづくり計画策定委員会」を設置し取り組んで参りました。この計画は、自治会（町内会）別「住みよいまちづくり懇談会」でのアンケートや、各団体が実施しています事業の内容や結果、課題を参考にして作成したものです。

## 学区の歴史と現状課題

大津野学区は、福山市の東部の端に位置し、岡山県笠岡市と隣接した地にあり学区の南側大半は江戸時代末期に干拓により開けた地域です。学区の名称の由来は、1890年（明治23年）大門、津之下、野々浜の三村が合併して、大津野村となりました。1955年（昭和30年）3月大津野・坪生・春日の三村が合併し、深安郡深安町となり、1961年（昭和36年）には、日本鋼管の工場誘致の決定により、翌年の1962年（昭和37年）1月1日を以って福山市と合併、福山市大門町になりました。2012年（平成24年）1月1日には、福山市大門町誕生から50周年を迎えましたが、近隣への大手企業進出や高度成長によって我が町は大きく変貌を遂げました。2016年（平成28年）3月現在では、3130世帯・6997人が住み、福山市でも人口の多い学区でもあります。しかし、大津野学区自治会連合会への加入世帯は2016年（平成28年）12月現在1572世帯で加入率は50%程度です。また、2016年（平成28年）9月現在の高齢者比率は28.6%となり、今後ますます進む少子高齢化に向けて、今一度物の豊かさから心の豊かさを感じ住みよい、住んでよかったと思える大津野学区をめざす必要があります。



明知山から望む大門町

## 略年表

- 1890年（明治23年）大門・津之下・野々浜村が合併 大津野村
- 1955年（昭和30年）坪生・春日・大津野村が合併 深安町
- 1961年（昭和36年）日本鋼管工場誘致決定
- 1962年（昭和37年）福山市と深安町が合併 大門町
- 1965年（昭和40年）日本鋼管福山製鉄所発足
- 1975年（昭和50年）大津野小学校現在地へ移転
- 1978年（昭和53年）大門公民館開館
- 1995年（平成7年）大津野学区ふれあい事業推進委員会発足
- 2006年（平成18年）大津野学区まちづくり推進委員会発足
- 2012年（平成24年）福山市合併50周年記念式典
- 2017年（平成29年）2月 地域まちづくり計画策定



日本鋼管福山製鉄所発足



大津野小学校現在地へ移転



福山市大門公民館



福山市・深安町合併50周年記念式典功労者表彰